

町の産業について学ぶ

平泉小5年生が黄金メロンの定植作業

町特産の黄金メロンの栽培を通じて地域の産業を学ぼうと、平泉小学校5年生12人が6月8日、栽培農家の一人で黄金メロン研究会会長の高橋正洋さん(13区)方のビニールハウスで約300株のメロンの苗を植えました。

この作業は、5年生の総合的な学習の時間の一環で実施しているもので、苗の定植から授粉、収穫、選別までを体験し、最後には自分たちで黄金メロンをPRして販売する予定となっています。



平安貴族の歌遊びを再現

毛越寺で「曲水の宴」

5月27日、平安貴族の風流な歌遊びを再現する「曲水の宴」が、毛越寺浄土庭園を舞台に繰り広げられました。

十二単をまとった花巻市の高橋瑠花さんが、今年の歌題「古」を披露。雅楽「催馬楽」に合わせ、重要無形民俗文化財の毛越寺延年の舞「若女」が奉納された後、杯を乗せた羽觴が遣水に流されると、平安貴族の衣装をまとった歌人たちが歌題に従って和歌を詠み、短冊にしたためて、流れてくる杯を傾けました。



落慶30年の節目を祝う

毛越寺本堂落慶30年記念法要と講演

6月9日、毛越寺本堂落慶30年記念法要が同寺で営まれました。記念法要には一山の僧侶をはじめ、檀家や町内外の関係者、招待者ら約100人が参列。一山の僧侶による読経が響き渡る中、参列者が一人ずつ仏前で手を合わせて落慶30年の節目を祝いました。

また同寺の仏像修復を手掛けた一関市大東町の京仏師石川昇明さんが「佛様のお姿と功徳」と題して講演し、さまざまな仏像の種類や違いについて話していました。



太田川内水排除施設が完成

稼働開始セレモニーと内水排除訓練

県が平泉字一筋地内で整備を進めてきた太田川内水排除施設が完成し5月30日、県や施設を委託管理、運営する町関係者のほか、町消防団員や地域住民ら約30人が出席して、現地で稼働開始セレモニーと排水ピット内の水をポンプで排出する訓練が行われました。

同施設は太田川の出水に伴う支流鈴沢川流域の内水被害を防ぐためのもので、今後JR平泉駅を含む町中心部の流域約70%で、浸水などの被害が解消されます。



来場所での活躍を誓う

伊勢ノ海部屋が町役場表敬

大相撲伊勢ノ海部屋の力士ら16人が6月15日、町役場を訪れ、岩淵教育長を表敬訪問しました。

奥州市での合宿の休日を利用して観光などで訪れたもので、出迎えた岩淵教育長は「7月場所ではけがすることなく、ご活躍を願っています」と期待。盛岡市出身の錦木関や奥州市出身の三段目の漣さん、一関市出身の序二段の関王さんの本県出身力士を含む同部屋力士7人は来場所での活躍を誓いました。



高橋さんと鈴木さんが東北大会出場

管打楽器ソロコンテストで銀賞

日本吹奏楽指導者協会東北支部主催の第27回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト東北大会予選北東北大会(6月2～3日、金ケ崎町)中学生の部で、トロンボーンを演奏した平泉中学校3年生の高橋一陽さんと伴奏者の鈴木沙英さんが銀賞を受賞し、平成31年2月3日に宮城県仙台市で開催される東北大会出場を決めました。高橋さんは「結果は嬉しいが、演奏を振り返るとまだまだ。次は全力を出し切って演奏したい」と意気込みを話していました。



交流を深めて元気にプレー

いきいきシルバースポーツ大会

6月16日、長島小学校校庭を会場に「第43回いきいきシルバースポーツ大会」を開催しました。60～80代の町民約300人が出場し、単位老人クラブを基本とした5チームに分かれて、ボール送りやゲートボールリレーなど計7種目で対戦。出場者は仲間と声を掛け合いながら、元気いっぱいの姿を見せていました。

競技の結果、前年2位の長部チームが2年ぶりに優勝を飾り、平泉北チームが準優勝に輝きました。



思いやりのある優しい心を育む

町内小中学校などで人権の花運動

6月6～8日、町内の学校などで人権の花運動が開催されました。この運動は、子どもたちが花を育てるを通して、協力することや命の尊さを考え、思いやりのある優しい心を育むことを目的としています。

このうち、長島小学校では6月7日に1年生14人、2年生10人が参加し、人権についての講話の後、人権擁護委員4人と一緒にペゴニアとアゲラタム、マリーゴールドの3種類の花苗をプランターに1株ずつ丁寧に植えました。

